

福祉事業者向け

コロナ感染対策 学習講演会

# 配布資料

地会場またはオンラインから参加できます

見逃し配信対応都合が合わなくて大丈夫!

2020年11月30日(月) 14:00~15:30

at ユーアイ帆っとセンター交流スペース6・7

# 白紙

#### 高砂市障がい者自立支援協議会

### 新型コロナウイルス対策に関する学習会

2020, 11, 30 宝塚市社会福祉協議会 総合相談支援課 髙田浩行

#### 1. 新型コロナウイルス感染拡大への対応について

- ①4月初旬に市内通所施設にて利用者の感染を確認
  - ・ 感染者(家族からの感染)は保健所の指示により入院
  - ・施設は2週間休所となり保健所の指示に基づき消毒作業を実施
  - ・同施設利用者は自宅待機とし、その後順次PCR検査を実施(検査順は保健所の指示)

#### ②相談支援事業所としての調整

・休所施設の利用者に対する休所期間中のケアに関する調整を開始

<パターン> a:自宅で家族によるケア

- b:他施設による代替ケア ・普段利用している他施設
  - ・普段利用していない施設

c:訪問系サービスによる代替ケア「·普段利用している事業所

- ・普段利用していない事業所
- ※
  対協にしか相談支援事業所がなかった時期に計画相談を受け持った方々が多く通所されている ため、利用者の8割以上が当センターの担当。
- ※特殊な事情により、親族がいてもケアに消極的で実質的に当事者が単身生活状態にある方への 対応も数件あり。

#### ③休所施設利用者以外への調整

・体調不良(微熱、倦怠感、咳など)を訴える利用者に対する、サービス提供の拒否が続発 <理由>感染リスクを避けたい·・・厚労省の通達に沿わない

> 感染予防の装備がない・・・インフルエンザやノロウイルス等にも対応不可? 心情的に派遣を控えたい・・・「あなただったら行きますか!!」との問い

※当事者との対話(相談等)をせず、事業所が玄関先から相談支援事業所へ電話をかけ、ケアをせず 帰所することを一方的に伝えてきた事案もあり。

#### ④家族ケアを選択した世帯へのアウトリーチ

・休所期間中に家族でケアをすることを選択した結果、家族への負担が大きくなる <注意点>家族の心身の疲労

> 家族が休暇を取っている場合の経済面への影響 虐待の「発生」と「発見しにくさ」のリスク

- ⑤施設再開にあたっての調整
  - ・施設が実施する利用制限に対応したサービス調整
  - ・感染を恐れて施設再開後も利用を自粛する方へのアプローチ
- (7)職場として行ったこと
  - <混乱時期> ・所内での正しい情報の収集と整理と可視化 ◎憶測を交えず確定情報のみを共有(ホワイトボードの活用)
    - ・正しい情報の外部へのアウトプット◎言えることと言えないことを明確に区別(個人情報に配慮)
    - ・批判や罵声をぶつけてくる事業所には取り合わない ②必要以上にその事業所にはこだわらず他の支援方法を模索する
  - <収集時期> ・『ふりかえりシート』の作成
    - ◎混乱時期に把握できた「問題点」や「良かったこと」の整理※災害発生時等へも活用可能なことが多くある
    - ・『多問題を抱える当事者』への支援策について根本的に見直す
      - ◎家族からのケアがなく事業所に強く依存してきた方
      - ◎経済的に不安定な状況が継続してきた方
- 2. 新型コロナウイルス感染症並びに災害発生時等の緊急対応について
  - ◎情報管理の重要性
    - ・混乱を引き起こす最も大きな要因は『不明確な情報が飛び交うことによる不安』であることを体感しました。
      - ※情報の出所(根拠)を明確にし「書いてあることだけが正しい情報」であることを徹底 ※「正しくない情報は一切口にしない」⇒噂話は混乱のもと
    - ・正しい情報は書いて共有
      - ※ホワイトボードに記載・・・個人名を書き出して進捗状況をリアルタイムで書き込む 担当者以外の職員も一目瞭然の状況にする
      - ※紙に記載・・・電話等で事業所からの問いに応答する際に曖昧な説明をしないようにする

## コロナ禍における自立生活支援センターの活動で見えた課題

